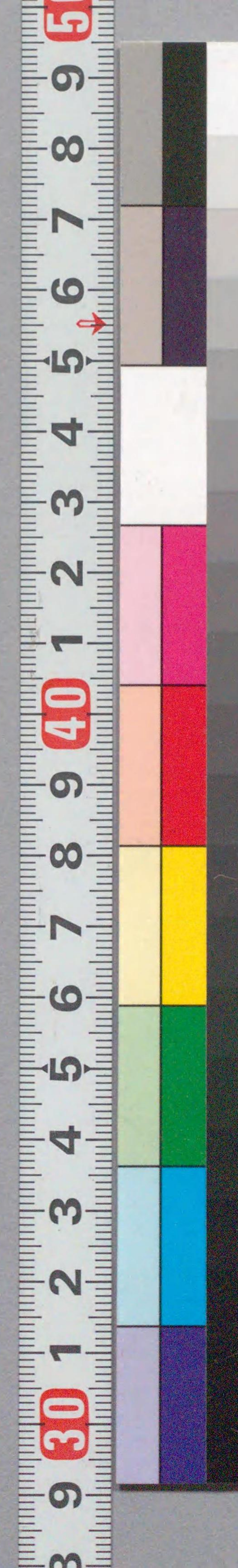


新春草紙顔見世

振鷺亭主人

207
943

蔵書印



ガラス使用



振鷺亭主人作

作者ハ右ノ如ク

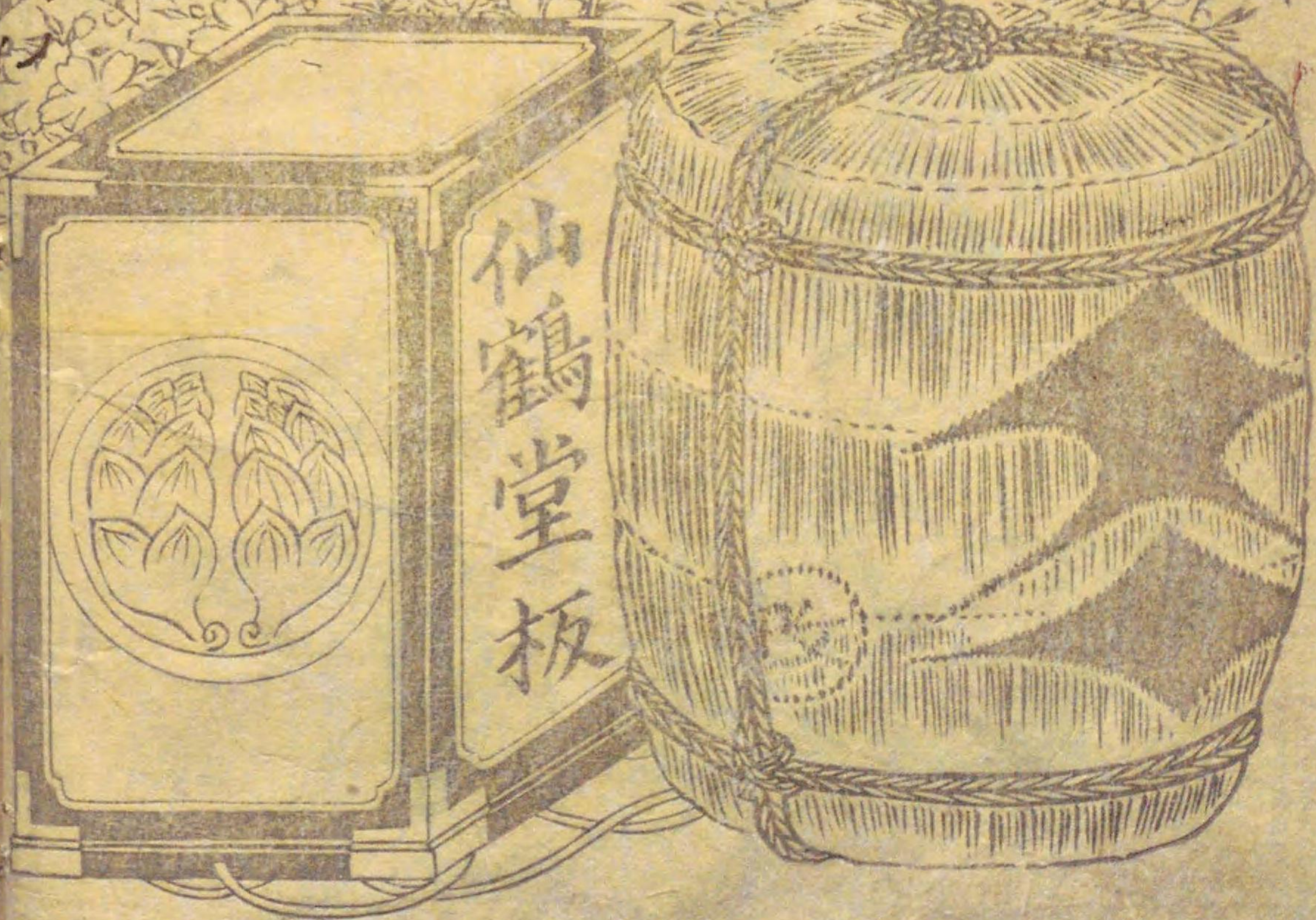
新春 全三冊

草紙顔見世

吾妻 三枚續
與五郎

画工ハ右ノ如ク

歌川國直畫



新春草紙顔見世 湯と縁づら一席文

可ラ序文の一丁下まで。下戸のせんべいの酒の中んぐらんと。板本の
中身命を老は新板紙ののろり候。あつちみむらて

繪草紙のあまらひらり候。あつちみむらて

おかしな候。わたくしはのり候。

正月のあまらひらり候。あつちみむらて

其後篇のあまらひらり候。あつちみむらて

ひらり候。あつちみむらて

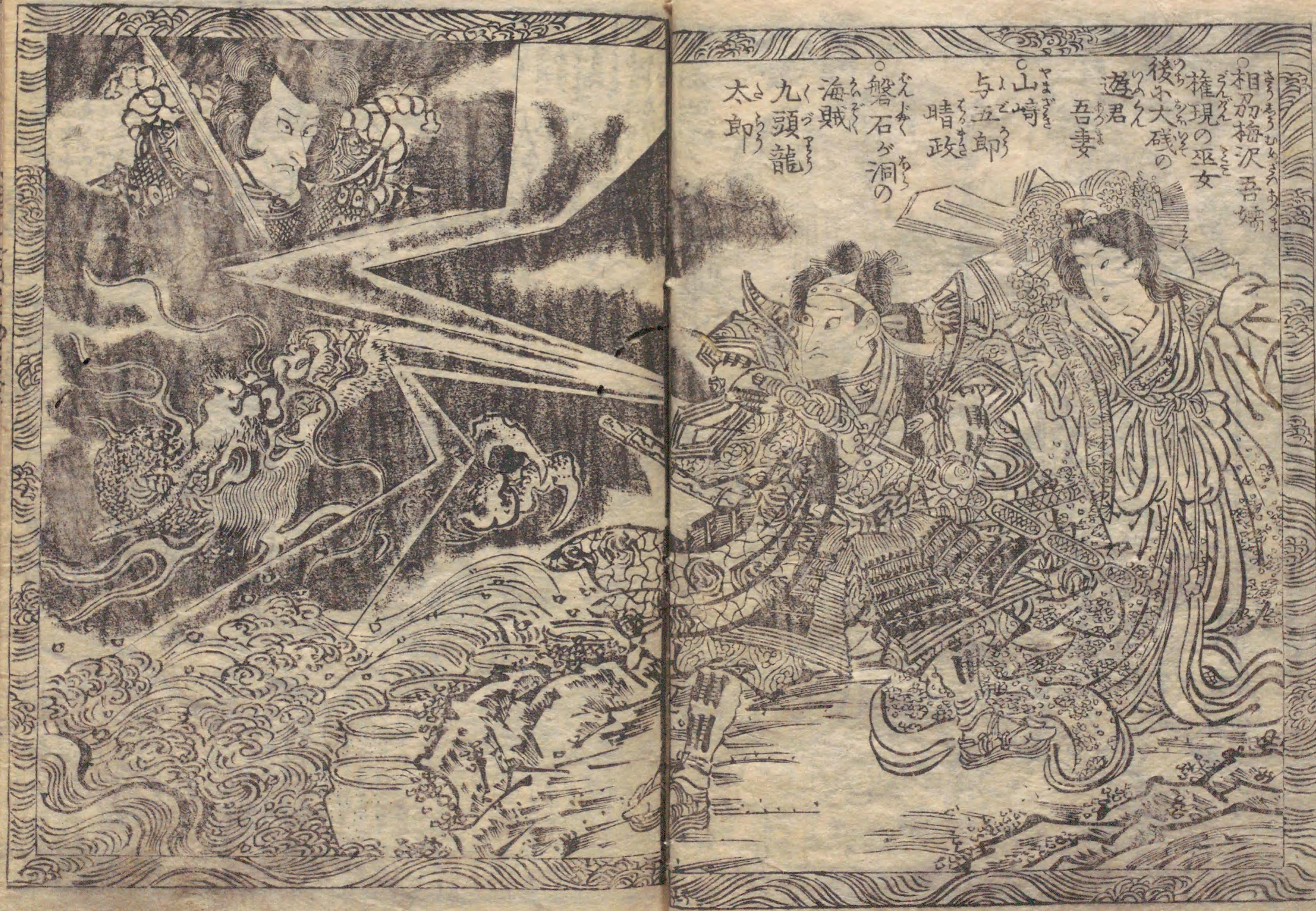
あつちみむらて



文化十二年乙亥春正月新繪草紙

振鷺亭主人述





相如梅沢吾婦
権現の巫女
後大碓の
遊君
山崎
与五郎
暗政
磐石の洞の
海賊
九頭龍
太郎

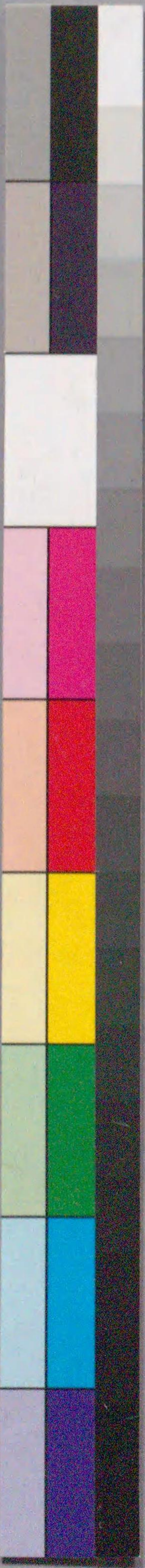
















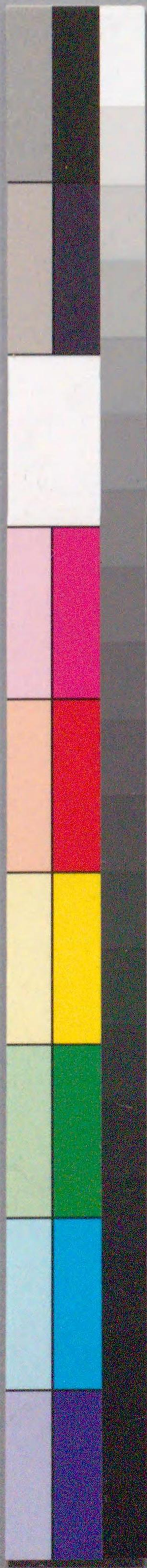


207
943

国立国会図書館 新春草紙顔見世 3巻 207-943

ガラス使用





国立国会図書館

新春草紙顔見世 3巻 207-943



ガラス使用

